

## 第3回まつなみクラブ運営推進会議議事録

場所：まつなみクラブ

住所：茅ヶ崎市松浪1-10-33

日時：平成29年9月16日 10時～11時半

出席者：7名

ご利用者代表 1名    ご利用者ご家族代表1名    松浪1丁目自治会長 1名

学識経験者 1名    地域包括支援センターさざなみ 1名

まつなみクラブ管理者 1名    まつなみクラブ職員 1名

### 1. 活動状況報告（別紙資料有）

- 8月末現在の利用者数 介護度別利用人数報告
- 個別機能訓練見直し
- アニマルセラピー実施
- シナプソロジー、コグニサイズ研修受講（説明後、シナプソロジー体験して頂きました）
- 9月防災訓練

### 2. 意見交換

<御利用者代表>

まつなみクラブは職員さんが明るくてとてもいいですし、御利用者同士のおしゃべりもとても楽しいです。

<管理者>

64名の御利用者に対して男性が7名と少ないのですが、何か対策はございますか？どんなデイサービスでしたら来てみたいと思いますか？

<ご家族代表>

時々見学に来て、体操に参加させて頂いています。介護認定を受けましたら、是非来させて頂きたいと思っております。歌が好きなので披露させて頂きたい。将棋やゲーム等もあったらいいと思います。

<管理者>

半日の体操中心のデイサービスなので、レクリエーションを取り入れる時間が少ないのですが、検討させて頂きたいと思います。ありがとうございました。

.....

### 3. 防災について

<管理者>

クラブでは年2回防災訓練を行っております。

まつなみクラブご利用中に災害が起こった時の避難場所は松浪小学校となっております。もし災害が起きたら、御利用者と職員の安全を確保し、火災対応（初期消火）、建物の安全確認、避難誘導（基本はまつなみクラブにて待機、その後状況により避難）、災害情報を収集し、ご家族、事務所に連絡を致します。

<防災リーダーをされていらっしゃる自治会長より災害時の対策や助言等をお話し頂  
>

茅ヶ崎市は防災に対しての備えや知識、関心がまだまだ遅れています。

地震後の津波は国道134号線を越えた所にはまず来ないだろうと考えられています。

一番怖いのは火災で、阪神大震災では地震発生直後の火災より、電気が復旧後の通電火災が断然多かったそうです。

対策としては、ブレーカーを切ってから、出口を開けて避難（ドアが開かなくなる事もあるので）してほしいのですが、いざ災害が起きるとそれどころではなくなる事も多々あります。

そのような事故を防ぐ為、茅ヶ崎市では耐震ブレーカーの設置（震度5で重りが落ちて自動的にブレーカーが落ちる）を推奨しており、市が2/3補助、個人負担が1/3の1,100円程度になる補助もしておりますが、予算もありますので数に限りがあり、まだまだ設置出来ていない家庭が多いのも現状です。

また初期消火に欠かせない消化器ですが、自宅に設置していない人がすごく多い。自治会で一括購入して安く買える等声掛けはしているのですが・・・

<学識経験者>

ブレーカーは手の届かない上の方に設置されている家庭が多いのですが、東電の検診の時にお願いすれば、引っ張ってブレーカーを切るヒモを無料で付けてくれます（あくまで自分で引っ張ってブレーカーをきるのですが）

<自治会長>

まつなみクラブでの避難所は松浪小学校ですが、あくまで避難所は家に住めなくなった方が住む所で、避難場所はそうではない。

まつなみクラブの火災の時の避難場所が一番近いのは、交番の前の森谷駐車場か、めがねスーパーの駐車場がいいのでは。いずれも交番が近いので情報が入るのではないかな。

医療が必要な方がいる場合は医者がある松浪中学校に行くと医療が受けられます。

避難経路ですが、茅ヶ崎は道幅も狭く、住宅も密集して行き止まりも多い。ブロック塀は崩れる危険が多いので、やはり道の広いバス通りがいいのではないかな。車での避難はダメなので、近くで安全な所を捜して避難誘導する事になります。

自治会によっては防災リーダーの人出不足で、対策があまり出来ていない所が多いというのが現状なので若い人（学生でも）が防災に関わってくれたらいいなと思います。

<参加者一同>

今日は防災の話聞くことが出来て大変参考になりました。

<管理者>

本日はとても楽しく有意義な時間を過ごす事が出来、感謝致します。

これからもまつなみクラブが地域の情報交換の場としてもお役に立てればと思っております  
有難うございました。

4. その他必要な事項

次回開催日は 2018 年 3 月予定

参考 家庭用の消化器は 2,000～3,000 円程度  
消化器の使用期限は 10 年